

一 般 質 問

令和5年第2回（6月）定例会

通告順	議席番号	議員名	ページ
1	7番	保坂輝雄	2
2	6番	岩崎隆志	3
3	15番	山中敏正	5
4	19番	渡邊光子	7
5	11番	岡安政彦	9
6	18番	糸井政樹	11
7	1番	坂本敏治	13
8	3番	砂川和也	14
9	8番	仲又清美	16
10	2番	星野充生	18
11	14番	加藤ただし	20
12	4番	岡野千枝子	22
13	12番	相馬正人	24
14	13番	浦田充	26
15	5番	北村あやこ	28
16	10番	新島光明	29
17	9番	にいつま 亮	31
18	17番	佐藤洋	33

質問方法は全議員とも複合式

※ 複合式とは、1回目の質問及び答弁はまとめて行うが、2回目以降は1項目ごとに一問一答で行う。質問時間は答弁も含め1時間以内とする。
(質問回数の制限なし)

7番 保坂 輝雄

1. 地域包括ケアシステムについて

(1) 「地域包括ケアシステム」の進捗状況について

- ① 桶川市における「地域包括ケアシステム」の進捗状況について、簡単にご説明ください。
- ② 桶川市独自で実施している「地域包括ケアシステム」に関する事例があれば、いくつかご紹介ください。
- ③ 現在の桶川市の特養の待機状況について、お伺いします。

(2) 課題と方向性について

- ① 「地域包括ケアシステム」に関する桶川市の現状の課題について、お伺いします。
- ② 「地域包括ケアシステム」に関する桶川市の今後の方向性について、お伺いします。

2. 不登校対策について

(1) 不登校の現状について

- ① 文部科学省で定める不登校の定義について、お伺いします。
- ② 桶川市の小中学校別の不登校の人数について、お伺いします。
(資料配付)
- ③ 桶川市において、不登校が解消した事例があれば、いくつかご紹介ください。

(2) 不登校対策の現状および課題と方向性について

- ① 不登校に関し、下記の項目それぞれについての桶川市の現状をご説明ください。
 - ア. 学習支援室や保健室等の教室以外の場所の活用
 - イ. 適応指導教室「けやき教室」
 - ウ. 通級指導教室「大空」
 - エ. フリースクール
 - オ. タブレット端末を活用したオンライン授業
- ② 「不登校特例校」に関する埼玉県内の現状と今後の方向性について、お伺いします。
- ③ 不登校対策に関する現状の課題について、お伺いします。
- ④ 不登校対策に関する今後の方向性について、お伺いします。

6 番 岩崎 隆志

1. 「不要土地を国に引き渡す」について
 - (1) 相続土地の国庫帰属の申請権者の条件について伺う。
 - (2) 対象土地について伺う。
 - (3) 申請が却下される場合について伺う。
 - (4) 相続土地の国庫帰属の申請先について伺う。
 - (5) 相続土地の国庫帰属の申請手続きの流れについて伺う。
 - (6) 申請前に桶川市農政課に相談しても良いか伺う。

2. ベーシックサービス―「弱者を生まない社会」について
 - (1) ベーシックサービスに対してのベーシックインカムの意味と、利点や欠点について市の見解を伺う。
 - (2) ここで言うベーシックサービスが弱者だけでなく全ての人にサービスを提供するという考え方に対しての市の見解を伺う。
 - (3) 人間が生きていく上で不可欠な基礎的なものに絞り込まれるという考え方について市の見解を伺う。
 - (4) 所得制限は設けず、全ての人を対象にするという考え方に対しての市の見解を伺う。
 - (5) 中間層を含む全ての人の生活を保障し、大学、医療、介護、障がい者福祉にかかる自己負担分のほか、給食費・学用品費なども無償化することをめざすという考え方に対して市の見解を伺う。

3. マイナカード利用範囲拡大について
 - (1) マイナカードと健康保険証を一体化し、現行の保険証を廃止する動きについて伺う。
 - (2) マイナカードを持っていない人や紛失した人にはどのように対応するのか伺う。
 - (3) 理容師や建築士などの資格取得・更新や自動車の登録などの手続きでもマイナカードを利用できるようになるようですが、伺います。
 - (4) マイナンバーとひも付けた「公金受取口座」の登録を加速する特例制度とはどういうものか伺う。
 - (5) 新たな感染症拡大などの緊急時に給付金を迅速に支給するため、マイナンバーの利用範囲を省令で定められるようにするようですが、どのようなことなのか伺う。

(6) 「書かない窓口」は、これにより促進されるか伺う。

4. 側溝が無く、水の逃げ場がない現道舗装の冠水対策について

(1) 浸透ますの設置について伺う。

(2) アクアロード工法による補修を要望するがいかがか伺う。

(3) 現道舗装道路幅の中心部分を少し高くし、その高い部分を歩行者に歩いてもらうという方法を提案するがいかがか伺う。

15番 山中 敏正

1. 人口減少社会での学校のあり方について

(1) 児童数の状況について

- ① 小学校別の児童数とクラス数の推移について、伺います。
(資料にて説明願います)
- ② 小学校別の児童数とクラス数の将来推移について、伺います。
(資料にて説明願います)
- ③ 小学校別の要因と将来見通しについて、伺います。

(2) 児童数減少が与える影響について

- ① 教育環境でのメリット・デメリットについて、伺います。
- ② 学校の維持管理と適正規模について、伺います。
- ③ 地域社会にもたらす影響について、伺います。

(3) 児童数減少に対する取組について

- ① 学校と地域の連携・協働の取組について、伺います。
- ② 地域資源を生かした教育活動について、伺います。
- ③ 地域での学校の役割について、伺います。

2. 未来に向けた持続可能なまちづくりについて

(1) 都市計画マスタープランについて

- ① 必要性と役割について、伺います。
- ② 今回の改訂内容について、伺います。
- ③ 立地適正化計画との関係について、伺います。

(2) 地区計画の活用について

- ① まちづくりへの活用方法と効果について、伺います。
- ② 地区計画策定の流れについて、伺います。
- ③ 桶川市での活用状況について、伺います。

(3) 市街化調整区域での地区計画の活用について

- ① 活用方法について、伺います。
- ② 他自治体の活用事例について、伺います。
- ③ 地区計画の導入の可能性について、伺います。

3. 桶川市の目指す農業について

(1) 現在の状況について

- ① 桶川市にとって農地利用の集約化・集積化の効果について、伺います。
- ② 生産性と耕作地面積の推移について、伺います。
(資料にて説明願います)
- ③ 農業経営法人の機能と効果について、伺います。

(2) 吉川市の農業振興の取組について

- ① 農業パーク基本構想について、伺います。
- ② 背景と目指す方向性について、伺います。
- ③ 桶川市での可能性について、伺います。

(3) 都市近郊農業について

- ① 桶川市が目指す都市近郊農業について、伺います。
- ② 観光農園の可能性について、伺います。
- ③ 農業公園の可能性について、伺います。

19番 渡邊 光子

1. 駅西口トイレ等の整備について

- (1) トイレ新設改修設置場所については、線路際の花壇を含めた、駅西口全体の整備を見据えたトイレ新設改修設置場所の指定が必要です。新しいトイレの設置場所を伺います。
- (2) 3月議会で現在、西口公園前にある交番を駅西口構内へ移転を希望しました。現実性について伺います。
- (3) 駅西口の南階段下で3月議会報告を夜、配布しました。バス停付近の高木で街頭の明かりがさえぎられるのでしょうか、帰路の人やバスに乗車する人の足元が大変暗いのに気が付きました。防犯も兼ねて明るくなりませんか。伺います。

2. 少子化対策でもある新生児への補助金について

双子の新生児へのベビーカー、チャイルドシート等の購入費の補助について12月議会の答弁では「誤解をしないように、やらないと言っているわけではない」。3月議会の答弁では「出産時には国からの支援があるので、そのお金で買えばよい」という結論により桶川市からの支援はなかった。そこで伺います。

- (1) 昨今のロシアのウクライナ侵攻にともなう日本国内の物価高に収入が追いつかない現状を無視した対策にあきれます。この状況は日本国内にとどまらないことは「言わずもがな」、誰でも知っていることです。このような状況の中で出産することへの桶川市の認識の軽さにあきれます。昨今は夫婦共に働き生活を支えている状況があります。妊婦の出産時は、休業により収入減になります。出産時育児休暇により夫の収入も少なくなります。加えて電気料金等や食材等の物価高は続き、収入が追いつきません。このような現状の中でも桶川市の考えは変わらず、「双子ちゃんの新生児へのベビーカー、またチャイルドシート等の購入には国からの支援金で買えばよい」と言い、桶川市の支援補助はないのか伺います。
- (2) 出産後の定期健診時ごとに三回1万円の商品券が支援されます。目的と、なぜ商品券なのか伺います。

3. 市内建設業との意見交換会について

さる5月8日に建設文教常任委員会と課題「コロナ禍における建設業の現状と課題について」桶川市建設業協会と意見交換会を行いました。そこで伺います。

- (1) ロシアのウクライナ侵攻後の受注工事は、ロシアのウクライナ侵攻が予想できないロシアのウクライナ侵攻前に桶川市から受注した事業だそうです。部品の高騰や仕入れに遅延等があり、工事完了の遅延も余儀なくされ、工事代金の回収の遅れもあったではないでしょうか。加えて昨今の出産時育児休暇等の勧めで建設業で働く人の賃金減などが予想されます。建設業協会との意見交換会では建設業で働く人は高齢者が多いとのことでした。建設業は社会の土台であり、また災害時には第一番に桶川市が頼りにする業界です。工事材料の高騰、働く人の福祉施策の充実を目的とした請負契約金の引き上げが必要と思います。桶川市の考えを伺います。
- (2) 大雨時には建設業の方達の協力により水の流れを止める土嚢を必要な現場へ届けています。業者の方は桶川市からの連絡が届く前から土嚢を用意し、桶川市から連絡が来たらすぐ現場へ土嚢を持参出来るようにしているそうですが、過去においては土嚢を現場に持参したら既に他の業者が届けており、無駄足だったそうです。通報を複数の課が受けて複数の課で対応した結果ではないかと思う。このようなことがないように対策を伺います。

1 1 番 岡安 政彦

1. 新型コロナの5類移行について

(1) 市民生活への状況について

- ① 現在の感染状況について伺う。
- ② 現在のワクチン接種の状況について伺う。
- ③ 相談体制の変化について伺う。
- ④ 5類移行についての周知について伺う。

(2) 公共施設の対応について

- ① マスクの着用について伺う。
- ② 施設管理について伺う。
- ③ 職員の管理について伺う。

(3) 教育現場について

- ① 授業時について伺う。
- ② 中学の部活動について伺う。
- ③ 給食時の対応について伺う。

2. ごみ処理について

(1) ごみの減量化について

- ① ごみの排出量について伺う。
- ② ごみの再資源化の現状について伺う。
- ③ 市の取組について伺う。

3. 交通安全対策について

(1) 道路交通法について

- ① 今回の改正の概要について伺う。
- ② 市民が気を付ける点について伺う。

(2) 自転車の交通安全対策について

- ① ヘルメットの着用の啓発について伺う。
- ② 中学校の自転車通学の状況について伺う。
- ③ 自転車の保険加入の啓発について伺う。

(3) 電動キックボードについて

- ① 7月1日からの改正点について伺う。
- ② 安全性と市民への啓発について伺う。

(4) 免許自主返納について

- ① 5年間の状況について伺う。
- ② 市としての取組について伺う。

18番 糸井 政樹

1. 桶川市の農業振興について

この度策定された桶川市第六次総合計画では、圏央道のインターチェンジと広域幹線道路の沿道をそれぞれ「複合開発エリア」と「沿道軸」と定め、産業施設の立地誘導を図り適切な土地利用の誘導を図るとされています。一方、例として川田谷地区は都市近郊農業及び関連産業の振興を図りながら農地の活用・保全を進めるとあります。

道の駅建設や民間倉庫の誘致、沿道サービス施設の期待も高まる中、その両立は多くの課題があるものと考えています。

- (1) このような中、改めて当市の農業支援策の今後について伺います。
- (2) 物価高騰により農業で使用される電気料金、機械購入費、肥料代が上昇しているが、米の売価は下落が続いています。この苦境のなかでの支援策はどのようなものと考えているのか伺います。
- (3) 休耕地、耕作放棄地では、ごみの不法投棄や雑草の繁茂等により、病虫害の発生や火災の危険性が危惧されている。その対策は。
一方、頑張っている農業者が耕作放棄地などを借り、作物を作っている方がおられるが、その支援策について伺います。
- (4) 農業従事者の減少が続いているが、その対策について伺います。

2. ごみ処理施設の将来について

東松山市・川島町・桶川市の2市1町による新ごみ処理の広域化は、今年1月25日に残念ながら東松山市の不参加表明により変更となり、川島町・桶川市による「ごみ処理広域化協議会」が4月1日に設置されました。

- (1) 前回の埼玉中部資源循環組合と今回のことについて、当市は前にかかっていたことは理解しているが、何が原因と課題として理解し、今後の糧とするのか伺います。
- (2) 上尾市と伊奈町は「上尾伊奈資源循環組合」を伊奈町に事務所を早々と設置し、令和15年の稼働開始に向け動きだした。また、鴻巣市・北本市・吉見町でも計画が進み、今後が注視されている状況であります。
今回の1市1町の広域化は当市にとってまさに背水の陣と考えているが、見解を伺います。
- (3) 1市1町での広域化について建設候補地を決めていただいた川島町には大変感謝しておりますが、1市1町での整備は建設費負担が膨大な額になると推測される。市民の皆様の理解が得られるのか、大変心配され

るところであります。見解について伺います。

3. 当市の防災施策とJアラートについて

2022年2月にロシアが開始したウクライナへの軍事侵攻から1年3カ月が経ちました。また4月13日、北朝鮮による度重なるミサイル発射では、Jアラートが北海道に発令され国民の安心・安全が脅かされています。

一方、5月に入り日本全国で大地震が頻発し、広域的な災害発生時への備えも見つめ直す必要が出てきたと考えております。

- (1) 先日北朝鮮が発射したミサイルにより発令されたJアラート（全国瞬時警報システム）は、発射されたミサイルの数も不明であり、頭を低くした身を守るなど緊急性が高い指示が出るが、実効性に乏しいと感じている方も少なくありません。当市に設置されているJアラート受信機や自動起動装置等の費用負担は如何ほどであるのか伺います。
- (2) 5月5日の能登地方地震（震度6強）から日本全国で震度4以上の地震が14回も発生しています。（5月23日現在）当市にもし、広域的な災害が発生した場合、どのような動きをとるのか伺います。
- (3) 5年程活躍いただいた環境経済部の川末一弘氏に代わり、自衛隊OBの兼利純作主席主幹が着任されました。国防のプロフェッショナルである兼利さんには、ウクライナ侵攻によるロシアからの核の脅威、頻発する地震への対応、風水害対策等、日本各地で活躍した経験をもとに、当市の安心・安全に関し大きな期待をしております。そこで今多様化する災害や危機に対してどのような担当を持ち、どのように活動していただけるのか伺います。

1 番 坂本 敏治

1. 市道の良好な維持管理について

(1) 市道の維持管理について伺う。

- ① 道路法で、道路の維持管理は道路管理者が行うと定められていますが、維持管理の定義について伺います。
- ② 道路の維持管理はどの市町村も負担になっていると聞きます。本市での現状と課題をどのように考えているか伺います。
- ③ 国や県からの技術的助言や財政的援助はあるのでしょうか。

(2) ハート・アンド・ハンド道路サポート制度について伺います。

- ① 本市における制度実施の背景を伺います。
- ② 制度に基づいて活動している団体数を伺います。
- ③ 活動地域を地図で示してください。
- ④ 主な活動はどのようなものですか。
- ⑤ 活動への市の支援状況はどのようになっていますか。
- ⑥ 募集方法はどのようにしていますか。

2. スポーツの振興について

(1) スポーツ振興施策について伺います。

- ① スポーツ都市宣言にふさわしい振興施策についてどのように考えていますか。
- ② スポーツ振興に必要な施設整備が不十分と思うが、市の考えはどうですか。
- ③ 近隣市との利用協定での相互の利用状況はどのようになっていますか。

(2) 身近なところでのスポーツ環境について伺います。

- ① 子どものスポーツの場についてどう考えていますか。
- ② 世代間のスポーツ交流の場についてはどうでしょうか。

(3) 舎人スポーツパークについて伺います。

- ① 施設の利用状況はどうなっていますか。
- ② 全体的に古く感じられ、施設の改良が必要ではないですか。
- ③ 施設の一部をスケートボード場に改変できないですか。

3番 砂川 和也

1. 都市農業としての市民農園について

(1) 都市農業について

- ① 定義と具体的な形をどのように捉えていますか。
- ② 農産物の生産以外に果たす機能は、どのように考えていますか。
- ③ 桶川市が目指す農業は、都市農業なのか伺います。

(2) 桶川市の状況について

- ① 農地としての利用・未利用の割合と利用状況について教えてください。
- ② 桶川市農業振興地域整備計画の見直し状況について伺います。
- ③ 農業センターの活用状況と今後、どのように活用していく考えなのか伺います。

(3) 市民農園について

- ① 設置場所と近年の利用状況、調整区域内に少ない理由について教えてください。（地図）
- ② 市民農園整備促進法と特定農地貸付法の違いを伺います。
- ③ 開設者の違いによるメリットとデメリットについて教えてください。

2. 電力の自給自足について

(1) 市内太陽光発電について

- ① 全国と比較して市内日照量は、どのようになっていますか。
- ② 市内での設置数と近年の発電量について教えてください。
- ③ 送電効率についてどのように考えていますか。

(2) 公共施設等での電気使用について

- ① 公共施設での近年の発電と利用状況について教えてください。
- ② 近年の施設別の電気使用量と料金は、どのようになっていますか。
- ③ 令和5年度以降の見通しについてどのように考えていますか。

(3) 自治体新電力について

- ① 意義とメリットは、どのように考えていますか。
- ② 県内での取組状況は、どのようになっていますか。
- ③ 桶川市での可能性を伺います。

3. サンアリーナの受付について

(1) 予約受付について

- ① 予約方法別の実績と利用割合について教えてください。
- ② 公民館等の他施設の予約受付方法と利用状況に違いなどはあるのですか。

(2) 市民が便利な予約方法について

- ① 他自治体が導入している予約受付方法は、どのようなものがありますか。
- ② 窓口に行かない予約方法の可能性を伺います。
- ③ 市民優先予約のメリット・デメリットは、どのように捉えていますか。

8番 仲又 清美

1. 乳幼児健診事業の現況と方向性について

(1) 乳幼児健診事業について

- ① 本市の乳幼児健診事業の内容について (※資料希望)
- ② 過去5年間の健診受診率について (※資料希望)
- ③ 本市と近隣市との乳幼児健診の事業の内容の違いについて (※資料希望)

(2) 乳幼児健診の方向性について

- ① 弱視や斜視など目の異常を早期に発見する屈折検査について
- ② 5歳児健診の導入について

2. 任意予防接種助成事業の現況と方向性について

(1) 大人の任意予防接種助成事業について

- ① 本市の任意予防接種助成事業の内容について (※資料希望)
- ② 近隣市町の任意予防接種助成事業の内容の違いについて (※資料希望)

(2) こどもの任意予防接種助成事業について

- ① 本市の任意予防接種助成事業の内容について (※資料希望)
- ② 近隣市町の任意予防接種助成事業の内容の違いについて (※資料希望)

3. 子育て世帯（0歳から18歳まで）の経済的支援の現況と方向性について

(1) 乳幼児の経済的支援の現況について

- ① 国や県の経済的支援の現況について
- ② 本市独自の経済的支援の現況について

(2) 小・中学生への経済的支援の現況について

- ① 国や県の経済的支援の現況について
- ② 本市独自の経済的支援の現況について

(3) 15歳から18歳（高校生等）までの経済的支援の現況について

- ① 国や県の経済的支援の現況について
- ② 本市独自の経済的支援の現況について

(4) 子育て世帯（0歳から18歳まで）の経済的支援の方向性について

- ① 物価高騰対策の方向性について
- ② 少子化対策としての方向性について

4. 樹木等の適切な管理について

(1) 本市の公共の樹木の管理について

- ① 今年度の街路樹の整備について（※予定される整備の資料希望）
- ② 今後の街路樹の整備の方向性について

(2) 市民の樹木の管理について

- ① 樹木の管理が適正でない市民相談等の現況について（※件数等の資料希望）
- ② 令和5年4月1日施行の民法第233条の改正内容と周知について
- ③ 改正後の課題について

2番 星野 充生

1. 歩行者の安全対策

- (1) 市道4245号線（まろにえ通り）の歩道部分が、雨天時には水たまりがひどくなるとの声を市民からいただいた。側溝が歩道よりも高い位置にあるため、側溝の役割を果たしていないとの意見である。
 - ① 上記意見についての市の見解、対応を問う。
- (2) 今年度予算において北1丁目の一部市道に側溝蓋設置がなされることになった。
 - ① 設置の具体的計画、および進捗状況を問う。
 - ② 今回は児童通学路の安全対策上の事業とのことであるが、以前から指摘していた通り、北1丁目の側溝は他にも安全上放置できない箇所がある。改めてその他の箇所についての対策はできないか問う。
- (3) 国道17号線と市道10号線（稲荷通り）の交差点において、国道を横断する際の信号機に右折矢印信号の設置を求める声を市民からいただいた。同時に、市道を横断する横断歩道上には歩行者用信号が設置されていない点も指摘された。
 - ① 右折矢印信号および歩行者用信号が設置されないのは何故なのか。

2. 自転車ヘルメット着用努力義務化

- (1) 道交法改正により、今年4月から自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務化された。
 - ① ヘルメット着用について市民への周知の現状を問う。
 - ② 市への問い合わせでどのようなものがあつたか、詳細を問う。
- (2) 蕨市をはじめ県内でも複数の自治体が自転車用ヘルメット購入の補助制度を設けている。蕨市や坂戸市等は市内在住、日高市等は小学生以下及び65歳以上と、対象は自治体によって違いはある。補助金額は、多くは購入額の1/2または上限2,000円となっている。桶川市も「幼児2人同乗用（3人乗り）自転車購入費の補助制度」にて幼児用ヘルメットが補助金の対象にされているが、この制度は今年度で終了となる。
 - ① 市民の命を守るうえで、自転車利用者に対するヘルメット購入の補助制度導入を求めるが、検討できないか。

3. 子ども議会

- (1) 今年も子ども議会を行う予定であるとのこと。昨年、一昨年の経験を経てより良いものになることを願う。
- ① これまで2回の子ども議会を通して得た教訓や課題はなにか問う。
 - ② 前2回との違いはあるのか。
 - ③ 新しいことを行うにあたっての問題点はあるか。

4. 教員をめぐる諸問題

- (1) 文科省は4月28日、公立学校教員の勤務実態調査の速報値を公表した。昨年度、一般教諭の平日の「在校等時間」は前回調査の平成28年度よりも、小学校で30分、中学校で31分減少した。しかし、依然として一日の「在校等時間」は10時間を超えていた。また、平日の持ち帰り仕事の時間は小・中学校ともに10分程度増えていた。
- ① 桶川市の「在校等時間」の現状と対応を問う。
 - ② 桶川市の持ち帰り仕事の現状と対応を問う。
- (2) 全日本教職員組合の勤務実態調査では、平日に休憩時間を全く取れていない教員が約6割に上ることも分かった。休憩時間の平均は11.4分で10年前の前回調査の19分よりも減っていた。全教は、業務量が変わらない中で残業時間を減らそうとする圧力が背景にある、と指摘する。
- ① 桶川市の平日の休憩時間の現状について、市の認識を問う。
- (3) 全国公立学校教頭会が昨年、教員不足の実態に関わる全国調査の結果をまとめた。令和4年度の始業時点で、本来配置されるはずの教員が欠員していたのは、小学校13.9%、中学校15.2%に及んだことが分かった。
- ① 桶川市の昨年度において教員の欠員はあったか。その際の対応について問う。
 - ② 今年度始業時点での教員の欠員はあったか。その場合現在は解決されているのか。

1 4 番 加藤 ただし

1. 公園の魅力ある活用について
 - (1) 他自治体での公園の活用状況について
 - ① 県内での状況について
 - ② 農産物の販売等付加価値の高い活用について
 - (2) 桶川市での公園利用について
 - ① 公園規約の変更状況について
 - ② 変更内容について
 - (3) 公園でのマーケット開催について
 - ① マーケット開催方法について
 - ② マーケットへの桶川市の協力体制について

2. これからの給食について
 - (1) 現在の給食の状況について
 - ① 現在使用している農産物について
 - ② 桶川市産の利用割合について
 - ③ オーガニック農産物の利用割合について
 - (2) オーガニック給食について
 - ① オーガニック給食の良い点について
 - ② 県内での取組状況について
 - (3) 給食費について
 - ① 集金方法について
 - ② 未納者の状況と対応について
 - ③ 無償化の可能性について

3. ゼロカーボンシティの取組について
 - (1) 宣言後の省エネ・創エネの取組について
 - ① 市民に対する啓発について
 - ② 市民に対する支援について
 - (2) 蓄電について
 - ① 蓄電のメリットについて
 - ② 電気自動車の活用について
 - ③ 県内での取組について
 - (3) 桶川市の目標について

- ① 現在の当市の目標について
- ② 目標達成に向けてのプロセスについて

4番 岡野 千枝子

1. 道の駅（仮称）おけがわについて

（1）設計の状況について

- ① 設計のスケジュールについて伺う。
- ② 現在の進捗状況と内容について伺う。

（2）物品の販売について

- ① 予定する農産物の品数と販売量について伺う。
- ② 予定する農産物以外の品数と販売量について伺う。

（3）飲食について

- ① 飲食スペースと座席数について伺う。
- ② 予定する飲食商品について伺う。
- ③ テイクアウトの考え方について伺う。
- ④ キッチンカーの導入について伺う。

2. 桶川の農業について

（1）農業従事者の状況について

- ① 専業農家と兼業農家の人数と割合について伺う。
- ② 農業従事者の年代別人数について伺う。（資料）

（2）耕作放棄地について

- ① 耕作放棄地の定義と現状について伺う。
- ② 耕作放棄地となってしまう理由について伺う。
- ③ 農地所有者に寄り添った施策の展開について伺う。

（3）新規就農者について

- ① 新規就農者の状況を伺う。
- ② 農業講習会の実施状況を伺う。
- ③ 定年退職者への就農支援の状況を伺う。

（4）市内農産物について

- ① 農業産出額の推移について伺う。（資料）
- ② 農産物の販路の状況について伺う。
- ③ 桶川産の農産物、学校給食での活用状況と課題を伺う。

3. 市民活動への支援について

（1）市民活動センターについて

- ① 設置目的を伺う。

- ② 設置目的の達成状況について伺う。
 - ③ 市民活動への支援状況について伺う。
- (2) 協働提案事業について
- ① 事業目的を伺う。
 - ② 事業実績と効果を伺う。
 - ③ 事業後の協働事業の展開状況について伺う。
- (3) 地域での展開について
- ① 地域の活動における現状と課題を伺う。
 - ② コロナ禍からコロナ5類感染症移行後の地域の活動を伺う。
 - ③ 地域に根ざした活動への支援状況について伺う。

12番 相馬 正人

1. ごみ集積所について

(1) 場所の確保

- ① 世代交代による影響
- ② 有料で借りている場所の数
- ③ 有価物持ち去りの状況
- ④ 公共の集積所の設置の可能性
- ⑤ 管理集積所と管理されていない集積所の状況

2. 移動スーパーについて

(1) 稼働状況

- ① 現状
- ② 今後の予定
- ③ 今後の課題
- ④ 利用者からの要望

3. 地域福祉活動センターの利用料金について

(1) 現状と今後の予定

- ① 現状の料金
- ② 利用料金の決め方
- ③ 利用料金の割引や免除
- ④ 利用者からの要望

4. 小中学校の改修について

(1) 床のタイル、校舎壁面、廊下の破損状況

- ① 現状
- ② 今後の修繕予定

(2) プールの今後

- ① 中学校のプール施設の今後の活用方法
- ② 修繕の必要な小学校のプールの状況

(3) 給食室の改修予定

- ① 現状と今後の予定

5. 子育て支援について

(1) 幼児2人同乗用自転車購入費の補助制度廃止の影響

① 問い合わせ状況

(2) 乳幼児用品の買い上げとレンタル

① 市として出来ないか。

13番 浦田 充

1. 教育のバリアフリーの取組について

- (1) 学校施設へのエレベーター設置について
 - ① 設置に向けてどのような取組を行っているか。
 - ② 大規模改修せずにエレベーター設置が可能な学校はあるか。
 - ③ 桶川市学校施設老朽化対策基本計画に基づいた各学校施設の大規模改修の計画を伺う。(資料配付)
- (2) インクルーシブ教育の取組について
 - ① 令和2年度以降の各年度の通常学級に就学した障害のある児童生徒数・割合を伺う。(資料配付)
 - ② 令和2年度以降の支援籍学習の利用者数と取組内容を伺う。

2. 桶川市の広報活動について

- (1) LINEの活用について
 - ① LINEの運用基準を伺う。どのような情報をどのようなタイミングで発信しているか。(資料配付)
 - ② LINEからのメッセージ送信等による双方向のコミュニケーションやLINEを活用したオンライン申請を可能にするための課題、可能となった場合のメリットと近隣自治体の状況を伺う。

3. バリアフリーの街づくりについて

- (1) バリアフリーに対する本市の考え方について
 - ① バリアフリー基本構想策定に向けた取組と成果を伺う。また、いつ予算化するのか。
 - ② バリアフリーはどのような場面で誰にとって必要なものなのか、市長に伺う。
 - ③ バリアフリー全般を取扱う部署の設置が必要ではないか、市長に伺う。
 - ④ 市内商業施設・公共施設のバリアフリー・ユニバーサルデザインの状況調査やバリアフリーマップ作成ができないか。
- (2) マイン連絡橋のバリアフリー化について
 - ① 階段部分へのスロープ設置に向けた今年度の取組を伺う。
 - ② 階段部分バリアフリー化へ市独自でエレベーター設置は可能か。
 - ③ 階段部分のバリアフリー化について、エレベーター設置も検討す

べきではないか。

5番 北村 あやこ

1. 市の政治姿勢

- (1) コンプライアンスに対する市長及び教育長の見解を伺う。(各1分ずつを目安に願います)

2. 飛行学校工事について

- (1) これまでの調査結果

① 詳細な照合結果を資料にて配付願ひ、これらをどのように活用していくのか。

- (2) ものづくり大学との話し合いについて、問題を垂れ流しにして終えるのか。

① 3月30日の話し合いの記録の配付を願う。事前に確認事項を送付して成果のある打合せの努力をしたのか。

② この結果をどう踏まえて、今後の方針を決めているのか。

③ ものづくり大学の「いいものができたと思っている」との返事に対して、発注者としての市の見解と対応は。

3. 生涯学習センター改修工事について

- (1) 設計変更について

① これまでの設計変更は、どのくらいあるか、一覧表を提出願いたい。

② その中で、工事費の増減を伴うものは、どれか。設計変更ガイドラインを守る姿勢と取組は。

③ 協議の記録はどのようになっているか。

4. 教育委員会の3月以降の取組について

- (1) サンアリーナの管理委託で、3月議会以後の調査、指導は。

① 事務処理規定の点検は行ったのか。

② (株)サイオーが今年度も総合管理委託を契約しているが、指名から外すべきではないか。ペナルティはないのか。

- (2) いじめの検証と加害者の謝罪について

① 損害賠償事件で、いじめ調査委員会にかけない理由を、「教師のいじめは対象とならない」と答弁しているが、クラスのアンケートでは、いじめを認める記録があるが、対応を伺う。

10番 新島 光明

1. 就学援助費の見直しについて

(1) 就学援助制度の現状について

- ① 就学援助利用児童・生徒数の推移を伺う。(過去10年の推移の資料)
- ② 現在の支給額及び対象世帯の所得基準額の改定年を伺う。
- ③ 就学援助費の支給額及び対象世帯の所得基準額の見直しはどのような時にどのような方法で決めているのか伺う。

(2) コロナ禍やウクライナ情勢の中で、様々な物品に激しい価格上昇がこの間もあり今も見られます。このことは教育関係物品にも同様に影響しているものと思われることから、就学援助費の支給額及び対象世帯の所得基準額を今こそ見直すべきと考えますが、教育委員会の所見を伺う。

2. 民生委員制度について

(1) 昨年一斉改選された民生委員の委嘱状況を伺う。併せて欠員となっている地域はどこなのかを伺う。(過去5年間の欠員地域を一覧表にし、連続して欠員となっている地域がある場合は一目でわかるような資料を求める)

(2) 民生委員が退任する際は前任者が次の候補を探す、見つからない場合は町会・自治会の推薦を得て候補者を探すとなっていたと思うが、いずれも見つからず欠員となっている状況があるようです。そこで私は以前に「民生委員の公募」を検討すべきと提案いたしました。これまでどう検討されたのか、他市での状況も含めて実施状況を伺う。

(3) これまでの議会の中でも「民生委員の負担軽減を求める」意見があります。一例として聞いた話だが、ある該当する情報を関係する台帳を各民生委員に見ていただき、必要な情報を各民生委員自身に筆記させたことがあったそうです。その民生委員曰く、地域敬老事業を実施する区長へは必要情報のコピーを渡し事業終了後に回収しているが「民生委員は区長よりも信頼されていないのかな」と不満気味の話があったことがありました。このような状況が今もあるのか、あるとするならば個人情報の管理の観点から取扱いの違いを伺う。

3. 皇女和宮行列和紙人形の公的機関での保管・陳列について

5月27日、28日、桶川公民館第36回サークル発表会がありました。この際に、皇女和宮行列和紙人形を久しぶりに拝見しましたが、「紅花が結ぶ和紙人形の会」の講師で専らこの和宮行列和紙人形を作られ指導された先生が昨年亡くなられたこともあり、会の幕を下ろすことになったとのことでした。そこで個人的にも心配したのが、この200体以上の人形の保管と展示が今後どうなるのかということです。現在の会の代表にお話を聞いても、目途がたっていないとのことでした。

この人形は紅花染め等の和紙で作られていること、皇女和宮が下向の際の宿泊地である中仙道桶川宿を視覚で訴えることができる貴重な資料とも言えるものであること、更には今後破損した場合に、民間業者に制作を依頼した場合、素人的にも数十万以上はかかるものと思うことから、関係者の了解のもとではありますが、公的機関で保管・展示し有効に活用すべきと考えます。利用方法としては、中仙道周辺の空き店舗等を活用して常設展示し、中仙道を訪れる観光客に見ていただくことはいかがでしょうか。ご見解を伺います。

4. 学校応援団交付金について

昨年まで、年間90万円であった「学校応援団推進事業交付金」が県の「学校応援団推進事業補助金」が減額された結果、今年は55万円となったものです。この交付金は、「学校応援団」というように、地域の方々が学校を少しでも良くし快適に子ども達が学べる環境を作るために、正にボランティア精神で活動を行うための必要な経費だと思います。

今、学校はコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）として、学校と地域住民が力を合わせて取組はじめているかと思えます。学校応援団は、ある意味では、コミュニティ・スクールと一体のものとも思えます。これからという時に、県の補助金が減ったから、各学校への交付金を減らすということはどういうことなのかという観点から質問します。

- (1) 昨年までの各学校への交付金の配分額と各学校ごとの詳細な使い道を教えてください。（過去5年間を各学校ごとに詳細に一覧にして）
- (2) 今年の各学校ごとの配分予定額及び予定用途について教えてください。（各学校ごとに詳細に一覧にして）
- (3) 委員会でも委員から強く改善要望がありましたが、その意見及び私からの問題提起を踏まえて増額変更のお考えがあるかないか伺います。

9番 にいつま 亮

1. 就学前の子ども・子育て支援について

(1) 就学前の子ども・子育て支援の現状について

- ① 当市の0歳児～5歳児の現状や傾向、分析されていることについて伺う。
- ② 就学前教育・保育の確保量について、各年度(2019年～2023年)のエリアごとの確保できた量と各充足率を伺う。
- ③ 保育料無償化後、3歳未満時の保育所等で保育を希望する家庭の推移を伺う。
- ④ 市内各園の保育内容について伺う。※保育時間、オムツ名前記入、土曜保育(平日代休の有無を含む)、連絡帳、セキュリティについての一覧表の提出を求めます。

(2) 就学前の子ども・子育て支援の情報収集・相談について

- ① 就学前の子ども・子育て支援の情報伝達方法について伺う。
- ② 就学前の子ども・子育て支援の相談方法について伺う。

2. 地域課題解決型の地域循環型経済の構築に向けた取組について

(1) 地域循環型経済の現状について

- ① RESAS(地域経済分析システム)の数字を踏まえ、現状分析や指針等の設定について市の見解を伺う。

(2) 地域循環型経済の現状の取組について(プレミアム商品券)

- ① プレミアム付き商品券の事業目的について伺う。
- ② プレミアム付き商品券の効果について伺う。※「商品券」「ユーザー」「しくみ/運営」の視点から
- ③ プレミアム付き商品券の問題点について伺う。※「商品券」「ユーザー」「しくみ/運営」の視点から

(3) 困難化する地域課題の解決について

- ① 地域内の経済循環促進について市の見解を伺う。
- ② 住民の行動変容・社会活動参加の促進について市の見解を伺う。
- ③ 福祉サービスの負担軽減・社会参加機会の拡大について市の見解を伺う。

(4) 地域循環型経済の構築に向けた新たな取組について

- ① 地域循環型経済の構築に向けた新たな取組としての「デジタル地域通貨」の導入の可能性について市の見解を伺う。

- ② (3) ①～③に挙げた地域課題の解決に向け、「デジタル地域通貨」の活用がもたらす効果について、市の見解を伺う。

17番 佐藤 洋

1. 職員の勤務状況について
 - (1) 退職・病気休暇職員について
 - ① 定年退職以外の退職者について
 - ② 病気休暇職員について

2. コロナ感染症について
 - (1) 中間的な総括について
 - ① この3年間を振り返って
 - ② 現状について
 - ③ 今後の課題について

3. 桶川駅東口について
 - (1) 現状と今後の推移
 - ① 南小跡地の利用について

4. 桶川の偉人について
 - (1) 辻村みちよ博士
 - ① 今までの推移について
 - ② 現状の啓発について
 - ③ 顕彰碑について